

首長等も参加した実践的な訓練の実施(情報伝達訓練)



- 平成30年5月11日(金)の洪水対応訓練において、羽村市とホットライン訓練を実施しました。
- ホットライン(電話)は、洪水によって堤防決壊等の重大災害が発生すると想定される場合において、市町村長が避難勧告等を実施する場合、その状況判断をする際に河川管理者が洪水の状況、今後の見通し等の情報、助言を提供するもので市町村長が判断する上での一助となるものです。

羽村市とのホットライン訓練概要

- 実施日時: 平成30年5月11日(金) 11時30分～11時35分
- 参加機関: 羽村市、京浜河川事務所

ホットライン(電話)訓練の概要

【洪水の状況、危険箇所】

京浜河川: 調布橋基準観測所で避難判断水位を超え、現在も水位が上昇中。羽村市内で特に危険な箇所は羽村堰左岸付近。変状を発見した場合は直ちに連絡する。

羽村市 : 羽村市においても風水害の第2次非常配備態勢をとり、消防団による警戒巡視や避難情報の提供及び避難誘導の準備等を順次行っている。

【今後想定される状況】

京浜河川: 調布橋基準観測所の水位予測の結果、氾濫危険水位を超え、更なる水位上昇を予想。堤防決壊が発生した場合、最大4m程度の浸水深を想定。「避難準備・高齢者等避難開始」の発令を助言した。

羽村市 : 早急に判断し、市民が安全に避難できるよう検討する。

ホットライン(電話)訓練における羽村市の状況等

羽村市長と京浜河川事務所長とのホットライン(電話)訓練により、より詳しい河川の状況や連携態勢を確認するなど、多摩川の洪水対応に関する重要な意見交換が行われました。

ホットラインの状況

